

■施設配置比較検討表（熊ヶ畑地域）

配置イメージ	A案	B案	C案
特徴	<p>【活性化センターとの連携による熊ヶ畑の魅力UP】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1つの建物に機能を集約し、山田活性化センターとの連携を重視した案 	<p>【熊ヶ畑をアピールする地域のランドマーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1つの建物に機能を集約し、県道側への施設のアピールを重視した案 	<p>【個々に伝える熊ヶ畑の魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的別で建物を分け、活性化センターとの連携や県道側への施設のアピールを考慮した案
施設内容	<p>[配置施設] :</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 建築・・・温浴施設：約1400㎡ / コミュニティ（公民館）：約400㎡ / 地産材飲食レストラン：約50㎡ ■ 屋外トイレ（24H）・・・約75㎡ <p>[駐車舞台数] : 普通車（52台）、車いす使用者駐車場（1台）</p> <p>■ 凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 温浴施設 ■ 屋外トイレ ■ レストラン → 歩行者動線 ← 車両出入口 		
既存施設との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・山田活性化センターとレストランが近いため、食材の加工、提供等の一体的な活用、円滑な連携が可能となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・山田活性化センターとレストランが離れているため、食材の加工、提供等における一体的な活用、連携が困難である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・山田活性化センターとレストランが近いため、食材の加工、提供等の一体的な活用、円滑な連携が可能となる。
管理面	<ul style="list-style-type: none"> ・機能が1つの建物に集約されているため、管理がし易い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・機能が1つの建物に集約されているため、管理がし易い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物が別棟となっているため、個々で管理が必要となる。
民家への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・建物と民家間において、十分な離隔を確保できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日当たり等への配慮の他、民家の南側に十分な空間を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日当たり等への配慮の他、民家の南側に十分な空間を確保する。
安全面	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に配慮し、歩行者と車両の動線を分離した配置となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に配慮し、歩行者と車両の動線を分離した配置となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に配慮し、歩行者と車両の動線を分離した配置となっている。
広場利用	<ul style="list-style-type: none"> ・一定のまとまった広場空間を確保できるため、各種イベントに合わせた利活用が可能である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一定のまとまった広場空間を確保できるため、各種イベントに合わせた利活用が可能である。 ・広場が計画地中央部に配置されることで、各施設からの利用や駐車場からのアクセス性に優れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとまりのある広場空間の確保が難しいため、用途によって利活用に制限がかかる可能性がある。 ・広場が計画地中央部に配置されることで、各施設からの利用や駐車場からのアクセス性に優れる。
道路からの視認性（見通し）	<ul style="list-style-type: none"> ・県道67号線側から建物が視認しづらいため、立寄り客の獲得が難しい。 ・建物により、前面道路（県道441号線）から北側（線路側）への見通しが遮られ、空間の奥行き、広がりが損なわれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通量の多い県道67号線からも温浴施設が見えるため、熊ヶ畑地域のランドマークとして施設のアピール（認知度向上）に繋がる。 ・前面道路（県道441号線）から北側（線路側）に対して視線を遮るものが無いため、景観的な奥行き、広がりが感じられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通量の多い県道67号線からも温浴施設が見えるため、熊ヶ畑地域のランドマークとして施設のアピール（認知度向上）に繋がる。 ・前面道路（県道441号線）から北側（線路側）に対して視線を遮るものが無いため、景観的な奥行き、広がりが感じられる。